

平成17年度新規採択課題

No.	研 究 課 題 名
1	C型肝炎新規治療開発に資するプロテオーム解析を用いた治療標的分子の網羅的検索系とヒト肝細胞キメラマウスHCV感染モデルを用いた実証系の開発に関する研究
2	C型肝炎の治療とキャリアからの発症予防に関する基礎研究
3	C型肝炎ウイルスの母子感染防止に関する研究
4	培養細胞で感染複製および粒子形成が可能なC型肝炎ウイルス株を利用したワクチン開発
5	肝硬変に対する治療に関する研究
6	L3分画および流血中癌細胞テロメラーゼを指標とした肝細胞癌のサーベイランスの有用性
7	新規癌胎児性抗原を利用した肝細胞癌の診断と治療

平成14年度肝炎等克服緊急対策研究事業（肝炎分野）における課題採択方針

- (1) 肝炎等の早期克服のための研究の総合的推進に関する総括研究
- (2) 肝炎等に対する診断、治療に関する臨床研究のうち次に掲げるもの
 - (ア) 肝炎ウイルス等の標準的治療困難例に対する治療法の確立に関する研究
 - (イ) 末期肝硬変に対する治療に関する研究
 - (ウ) 3次元画像診断法を用いた肝がんの高精度術前局在診断による安全な肝切除法の開発に関する研究
 - (エ) 進行肝がんに対する集学的治療に関する研究
 - (オ) 人工肝臓による肝不全の治療の研究
 - (カ) 既存の肝がん治療法の有効性に関する研究
 - (キ) 肝がん患者のQOL向上に関する研究
- (3) 肝炎等からの発がんメカニズム等の解明に関する研究のうち次に掲げる研究
 - (ア) 肝炎ウイルスによる宿主細胞のがん化メカニズムの解明に関する研究
 - (イ) 炎症による肝発がん促進メカニズムの解明に関する研究
 - (ウ) 新規肝がん関連遺伝子の網羅的検索とDNAチップを用いた遺伝子の相互関連性に関する研究
 - (エ) トランスジェニック・マウスを用いた肝発がんメカニズムの解析
- (4) 肝炎等の疫学的評価等に基づく健康管理等の対応に関する研究のうち次に掲げる研究
 - (ア) 肝炎に関する地域での健康相談等に関する研究
 - (イ) 職場における慢性肝炎の増悪要因（化学物質ばく露等）及び健康管理に関する研究

- (5) 肝炎等の院内感染等の防止対策に関する研究のうち次に掲げる研究
 - (ア) 肝炎ウイルスによる院内感染防止のための院内管理システムの開発及び運用に関する研究
 - (イ) 輸血後肝炎に関する研究
 - (ウ) 血液透析による肝炎ウイルス感染防止のための研究
 - (エ) 歯科診療におけるC型肝炎の感染リスク低減に関する研究
 - (オ) C型肝炎ウイルス等の母子感染の防止に関する研究

- (6) 肝炎等の治療に関する新たな医薬品等の開発に関する研究のうち次に掲げる研究
 - (ア) 慢性C型肝炎に対する治療用ヒト型抗体の開発に関する研究
 - (イ) 肝がんに対するワクチン療法に関する研究

- (7) その他肝炎、肝硬変、肝がん等の予防、診断及び治療法等に資する研究であって、重要性及び緊急性が特に高い研究

平成15年度肝炎等克服緊急対策研究事業における課題採択方針

- (1) A型肝炎及びE型肝炎の診断、予防及び疫学に関する研究
- (2) その他肝炎、肝硬変、肝がん等の予防、診断及び治療法等に資する研究であって、重要性及び緊急性が特に高い研究

平成16年度肝炎等克服緊急対策研究事業における課題採択方針

- (1) B型及びC型肝炎ウイルスの新たな感染予防法の確立のための感染病態解明に関する研究
- (2) B型及びC型肝炎ウイルス感染者における新たな発がん予防法の確立のための肝がん発生等の病態解明に関する研究
- (3) B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究
- (4) B型及びC型肝炎ウイルスの感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究
- (5) 歯科診療におけるB型及びC型肝炎感染防止体制の確立に関する研究
- (6) 肝硬変非合併肝がんの病態解明及び予後改善に関する研究
- (7) B型及びC型肝炎患者における肝移植後の免疫抑制治療に関する研究
- (8) 病期別にみた肝がん治療法の費用効果及びQOLの観点からみた有効性に関する研究
- (9) 予後改善を目指した肝臓がん再発に影響を与える因子に関する研究

平成17年度肝炎等克服緊急対策研究事業における課題採択方針

- (1) C型肝炎の治療とキャリアからの発症予防に関する基盤研究
- (2) C型肝炎の院内感染防止に関する研究
- (3) B型及びC型肝炎の母子感染防止に関する研究
- (4) C型肝炎に対するワクチンの開発に関する研究
- (5) 肝硬変に対する治療に関する研究
- (6) 輸血後肝炎の疫学的動向と治療に関する研究
- (7) 肝細胞がんの予後の改善に係わるサーベイランスの有効性に関する研究
- (8) 予後改善を目指した進行肝細胞がんの集学的治療に関する研究
- (9) 肝細胞がん化学療法への適応と有効性に関する研究

分担研究報告書

肝炎等の早期克服のための研究の総合的推進に関する総括研究（分担報告書）

分担研究者 石川直子 国立感染症研究所 国際協力室長

研究要旨

肝炎等の早期克服のため、より効果的な研究を推進できるよう、その研究課題の設定、研究者の選考、研究成果について、肝炎等の専門家からなる委員会で評価・検討を行った。

A. 研究目的

肝炎ウイルスに起因する急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、その他肝炎等関連疾患の予防、診断、治療、その他疫学に関する研究等が数多く行われる中、肝炎克服のための新たな施策の展開に向け、より効果的な研究が実施されるよう、その研究内容、研究者、期待される成果等について、専門家による評価を行う。

B. 研究方法

平成14年度肝炎等克服緊急対策研究事業において、研究課題の採択についての事前評価委員会、研究の継続の可否を検討する中間・事後評価委員会を実施し、適

切な課題の設定や研究者の選考、研究成果についての評価を行った。

C. 研究結果

- 1) 平成14年度継続研究課題22件について中間評価を行い、研究継続の可否について検討した。その際、研究開始後2年が経過した研究者については、質疑応答を含めた学会形式の成果発表を行い、改善を要する点等について直接研究者に指導し、改善を求めた。
- 2) 平成14年度新規申請課題の事前評価を行い、13課題に絞り込んだ。